

文化芸術に関するアンケート(個人向け)

文化芸術政策等に関するご意見・ご要望(自由記述)の要約

文化芸術に関するアンケート(個人向け)の問 12(自由記述)を要約したもの

1. 文化政策全体への厳しい評価・不信感

- ・八戸市は経済的に厳しく、文化芸術を支える土壌が弱いという認識がある
- ・市長や行政トップの文化への関心が低く、市民や職員の努力が報われにくいという不満
- ・アンケートを取るだけで、実際に行政が行動していないという指摘
- ・行政主導の文化施策が「上から押し付けている」ように見えることへの警戒感

2. 担い手不足・若手育成・人口減少への危機感

- ・多くの文化団体が、資金不足と若手育成に苦労している
- ・若者の県外流出が続く限り、文化の持続は難しいという認識
- ・学校教育・社会教育と文化芸術の連携を強化し、若者定着につなげてほしいという期待

3. 「守る文化」から「活かす文化」への転換の必要性

- ・現行政策は「守り、親しむ文化」に偏り、持続性・担い手・成果の可視化が弱い
- ・誰が担い、どう評価され、次につながっているのかを見える化する必要がある
- ・祭り・横丁文化・芸能・アートは、都市の競争力になり得る資源
- ・文化を行政サービスとして消費する段階から、人・評価・経済が循環する都市戦略の中核へ位置付け直すべきとの意見

4. 民間活力・外部評価の重視

- ・民間資金・民間主導の取組を積極的に活用すべき
- ・公共は前面に出るより、ソフト面・後方支援に徹するべきとの考え
- ・県外から集客できるコンテンツ(著名アーティスト、キャラクター、美術展等)への期待

5. 広報・周知方法への不満と改善要望

- ・イベントや活動を告知しようとしても、ポスター掲示などの手続きが煩雑
- ・周知方法をもっと多様化・簡素化してほしいという要望

6. 個別施策・コンテンツへの評価と批判

- ・特定の既存イベントについて、品位や新鮮味に欠けるとの厳しい批判
- ・先鋭的なパフォーミングアーツは市民ニーズと乖離している可能性
- ・一方で、「横丁」と組み合わせた取組など、継続により評価されている事例もある
- ・成功要因(継続性、地域資源との組み合わせ)を整理すべきとの示唆

7. 施設・環境整備に関する要望

- ・美術館の駐車場不足への不満、専用駐車場確保の要望
- ・映画館が欲しいという声
- ・「余計な税金を使うより、既存美術館の展示内容充実を」という意見

8. 対象・内容の偏りへの指摘

- ・子ども向け体験事業に偏りすぎており、大人が魅力を感じる内容が少ない
- ・大人が「良い」と思える文化がなければ定着しないという懸念

9. 文化の捉え方に関する意見

- ・文化は手段ではなく目的であるべき
- ・文化芸術は市民が自発的に生み出すもので、反体制的・自由な精神が本質
- ・市ができることは、無料で「モノ」や「場所」を提供し、自然発生を支えること
- ・芸術は本来自由であるという理解を広く共有してほしい

10. 制度・調査への疑問

- ・アンケートで「性別(男女)」を必須とする理由の説明が不足しているという指摘